

二月二十一日(日) 沢井 撰

ぬく時

おとといはぐまがいたか、た
ので、はいしゃに行きました。
はらさわ先生の所とちがう所
です。

「沢井さん。」

「よばれました。」

「これは、おとなのはが少し
出ているからです。」

「といわれしました。」

「いたいはぐまの所のはは、ぐ
らぐらです。」

「ぬくがな。」

「と思、たら先生が、ぬきます。」

「とい、たのであつたよる。」

「ほうと、したけど、え。」

「とび、くりしてどきどきしまし
た。」

「とたりのはもぬきます。」
といわれたので、めちやくちど
きどきしました。

ぬく時になりました。

さいしよにちやうしゃなので
どきどきしました。

ぐさつとさしました。

でもすぐぬきました。

一本に二回づつさしました。

中がわと内がわです。

さいしよのときだけいたかっ
たです。

十五分くらいまたされました。

次にこんどは、はをほんとうに
ぬくときになりました。

先生がぬこうとしました。

でもぬけませんでした。

まよふ力のでや、たらぬけま

した。
ぬく時はいたくなくてぬいた
後かいたかいたです。
わたなかみしました。
三十分くらいですてました。
その時はもうすっかりちがお
さまっでいました。
でもよんおとなのはがでいて
たのがわかってすごく目がいい
のだと思えます。

